



巻野公洋さん
伊丹沢

◆成人になって

今年成人となった自分、世間から見れば大人ですが、自分ではまだまだ大人になりきれていない部分が多々あると思っています。大人になったという自覚がまだ足りないという証拠です。

これまで何度も迷い、挫折してきた自分。挫折するたびに本気で叱ってくれた父親、そんな父親をこれか

ら大切にしたい一生懸命親孝行していきたいと思っています。そして、祖母にもとても感謝しています。

さて、自分はやっと成人となりこれから何をやるにも『責任』という言葉がついてきます。そこで自分なりに2つの目標を立ててみました。

一つ目は、責任ある行動をとる。

二つ目は、成人として恥じないようにする。

この目標を守り、これからの自分の人生を有意義に、そして楽しく送れるようにしていきたいと思っています。

最後に、今年成人となったみんなへ。それぞれ歩む道は違いますが、夢に向かって精一杯頑張り、夢がかなうように、もしくは夢に近づけるように頑張ろう！

11区八和木集会所が完成 (前田・八和木) 新築を祝い落成式



▲完成した11区八和木集会所



▲乾杯をして完成を祝う住民ら

11区八和木集会所の落成式は1月16日、新築された集会所で行なわれ、地区住民らが完成を祝いました。

新しい集会所は、従来の集会所跡地に建てられ、建物内は身障者用のトイレが設置されたほか、扉を3枚戸にして通行の幅を広くするなど、高齢者や身障者にやさしい造りになっています。

集会所の建設に当たっては、昨年5月に地区住民8人による集会所建設

委員会(齋藤高男委員長)を組織し、設計等の協議を重ねてきました。

落成式では、はじめに主催者の佐藤宣征区長からあいさつがされた後、来賓の菅野村長と横山村議会議長から祝辞が述べられました。

また、八和木植え踊りも奉納され、地区住民らは新しい集会所の完成を祝っていました。

新しい集会所の概要は次のとおりです。

○概要	
・名称	11区八和木集会所
・事業名	飯館村単独補助 地区集会所等整備事業
・所在地	飯樋字八和木583番地
・延床面積	134.98㎡
・構造	木造平屋瓦葺
・総事業費	19,770千円



村の進路

日本は今、借金で苦しんでいる国になってしまいました。より多くの人が、そこに早く気付いて「つましき」を考えていかねばならない時代です。

飯館村は、いち早く気付く「まじライプラン」を進めていくことになりましたが、それでも大変なことに変わりはありません。でも、活路がない訳ではありません。お金がない時には、また新しい「動き」が生まれてくるものです。

その一つに、「やる気があつて創意工夫、努力している市町村にはお金を払います」という考え方です。

そのような時代の流れを読み、村ではこれまで職員の手配りで、100%補助の有利な事業をここ5年間取り入れてきました。

旧草野小学校の体育館をグートボール場へ(6、100万円の補助)、次に公民館

の入り口をスロープにし、エレベーターをつけました(2、600万円)。14年には「やすらぎ」を大改造して皆さんに利用していただいています(5、600万)。15年には、これからのボランティア活動の拠点施設として「ひだまりの家」を建てました(5、700万円)。そして今年度は草野小の空き教室を、幼稚園と小学校の預かり保育室に改造しました(2、800万円)。

国では、お金がないので各市町村へ配るお金を減らす方向に動いていますが、一方で「素晴らしい計画」をつくり、「どうしてやりたい」という情熱があれば、直接国へ申し込むようにという事業が、国のいくつかの省庁から始めています。構造改革特区や地域再生事業などもその一つです。飯館村では「つましき」のなんとなく物足りなさを、村民あげての創意工夫、努力によって補い、小さくともキラリと光る村にしていきたいものと考えているところです。それには、村民の皆さんの「まかせ」から「かかわる」村づくりへの転換が必要で、自立の地区説明会に是非足を運んでみて下さい。

平成17年1月31日

飯館村長 菅野 典雄



▲役場に飾り付けられた団子さしと飯樋4区ミニデイサービスの皆さん

飯樋4区ミニデイサービスの 皆さんが村内施設に寄贈

1月11日、飯樋4区ミニデイサービスの皆さんによる手作りの「団子さし」が、役場庁舎内の階段に飾られました。

この「団子さし」は、同ミニデイサービスの皆さんが、年間行事の一つとして毎年村内の施設などに贈っており、今年で5回目。

役場に訪れたミニデイサービスの皆さんは、団子の木に仕上げの飾りつけをした後、役場内の階段に設置しました。また、小林ケサノさん



▲ニワトリの格好をして周りを楽しませた小林さん